

朗読劇「戦争と狛江の子ども達」

狛江市の平和事業として終戦 50 年を記念して、主に狛江市で起きた出来事を中心に戦争体験をまとめた本「狛江・語りつぐ戦争体験—永遠の平和を願って」(1996.3) が出版されました。当時青少年であった6人の方が編集し 170 人の方々の協力があったそうです。編集者6人に画家の金子嘉一氏を加えて、子どもの目線に合わせた紙芝居「戦争と狛江の子ども達」(1999.3) を作成、発表会も行われました。複製を市内小中学校に配布しています。その後、展示機会はありましたが、上演されたのはまれだったようです。こまえ平和フェスタ実行委員会として紙芝居として復活させようと考え、紙芝居上演継承事業として市民の方々と一緒に取り組んでいます。

このたび、エコルマホールの舞台でもこの紙芝居を朗読劇として上演することにしました。脚本・演出は俳優で脚本家、実行委員の二階堂まりです。ご期待ください。



わすれもしない昭和20年5月25日の夜の事です。…焼夷弾
の爆発した炎は、二階建ての校舎に火柱を上げ、…